

臨時号

グリーン・ウェーブ

GREEN WAVE

グリーンコープのうねりを地域へ

6/7

第十八期
通常総代会報告

発行●グリーンコープ生協ふくおか 理事会
編集●広報委員会
福岡市博多区博多駅前1-5-1博多博通ビルディング3F
TEL●092-482-7770 (代)
ホームページ●http://www.greencoop.or.jp/

「楽しく、ひろがれ、30周年」 30周年をみんなで楽しく お祝いしましょう



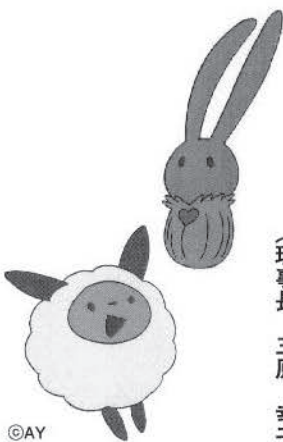
▲あいさつをする三原理事長

本日はお忙しい中、第十八期グリーンコープ生活協同組合ふくおか通常総代会にご出席いただき、ありがとうございます。

九州北部大水害から約1年が経ちます。被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。グリーンコープは水害のあった当日から迅速に支援を始めました。まだ現地が危険な状態の中職員が緊急支援物資を運び、その後私たちが現地を訪問し必要な支援のあり方をお聞きし炊き出しや生活用品の提供など様々取り組んできました。時間とともに必要とされることは変わってきており今もなお地域に寄り添い支援を続けています。地域の方々との出会いもありました。総代の皆様には今後もカンパの支援、被災地へ向いての支援などそれぞれが出来ることに心寄せていただければと思います。

本総代会では、2014年度よりV字回復を遂げた後も続く組合員増と供給増の嬉しい報告をします。「地域に飛び出せグリーンコープ」「打って出る」の合言葉を確認した2014年度より組合員、職員、ワーカーが地域に飛び出し続け、利用普及活動に創意工夫をした結果です。お店も次々リニューアルし赤字を脱却しています。またキープ&ショップは次々オープンしグリーンコープが広がっています。

びん牛乳は優秀味覚賞を受賞したこと



©AY

2018年度キャッチコピーは「楽しく、ひろがれ、30周年」です。30周年をみんなで楽しくお祝いしましょう。

(理事長 三原 幸子)



来賓祝辞

福岡県

「グリーンコープ生活協同組合ふくおか」第18期通常総代会の御盛會を心からお慶び申し上げます。

貴組合におかれましては、設立以来長きにわたり、相互扶助の精神の下、物資の供給事業や福祉事業などを通じて組合員の



▲福岡県人づくり・県民生活部生活安全課 課長 本田 航二さん

福利厚生の上昇に努められるとともに、地域住民の福祉の向上に貢献されてこられました。また、昨年7月に発生した九州北部豪雨災害では、被災地への支援に全力で取り組んでいただいております。

三原理事長をはじめ、役員及び組合員の皆様の御尽力に對して、心から敬意を表しますとともに、厚く御礼申し上げます。さて、貴組合におかれましては、生活困窮者の早期自立支援や家計相談、貧困状況にある子育て世帯に対する相談支援に係る本県からの委託事業にも取り組んでおられます。

な相談に対応しております。そのような中、平成28年度より、グリーンコープ生協ふくおか様が大牟田市より生活困窮者自立支援事業の一つである「家計相談事業」の委託を受けられ、協同の「生活相談室」で、私どもと「協働」で支援事業にあたることになりました。「協働」によって、互いの職員がペアで相談者宅を訪問することとたびたびあり、グリーンコープの家計相談員は私どもにとって、心強いパートナーとなっています。又、これを契機に始まったのが、大牟田市高取校区の「高取ふれあい子どもプロジェクト」です。これは、校区の社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会といった地域組織、米の山病院、大牟田市社会福祉協議会に加えて、高取校区にグリーンコープ様の配送センターがあることから、グリーンコープ様にも参加をお願いし、今では、様々な食材の提供をいただいております。

大牟田市

本日は、平成30年度グリーンコープ生活協同組合ふくおか通常総代会にお招きいただきありがとうございます。

ひと言、ご挨拶申し上げます。まずは、皆様方の日頃の地域での様々な活動に對しまして、心から敬意を表し、感謝とお礼を申し上げます。

さて、平成27年度より、生活困窮者自立支援法が創設され、大牟田市社会福祉協議会は大牟田市より委託事業を受ける事になりました。中心となる相談支援事業では、経済的な困窮者を

はじめ、引きこもりや不登校、介護、多重債務、虐待など様々な



▲社会福祉法人 大牟田市 社会福祉協議会 会長 川満 佳代子さん

困窮者自立支援法が創設され、大牟田市社会福祉協議会は大牟田市より委託事業を受ける事になりました。中心となる相談支援事業では、経済的な困窮者を

最後に、昨年は「グリーンコープ生協ふくおか」様と「大牟田市社会福祉協議会」は、食糧支援を基本とした協定を締結いたしました。生活困窮者の相談事業においては、既存の制度では対応できないことが多々ございますが、この協定により「制度の狭間」かつ「緊急を要する場合」の生活支援の強化を図れるものと思います。今後も地域における生活困窮者に対する支援を互いの信頼関係の中で実践していければと願っております。

最後になりましたが、本日の総代会が実りあるものとなりまして共に、三原理事長をはじめ、役員の皆様、そしてご出席の皆様方のますますのご健康とご活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

本日はおめでとうございます。



▲坂本北九州地域理事長

閉会あいさつ

グリーンコープの
広がりを地域で
感じていけるように
なっています

組合員の皆さん、総代会が無事終了しました。お疲れ様でした。

今年は、質疑応答の時間も多く取られ、総代の方からも積極的なご意見や質問が出て、思いを共有し、深めることが出来ました。

九州北部大水害から約1年が経ちました。その間、自分たちが出来ることを寄せ合い、私たちグリーンコープが行ってきた様々な支援活動の様子を冒頭聞くことが出来ました。また、被災地域の方からのご挨拶では、グリーンコープが行ってきた支援活動1つ1つが助けになったことに加えて、関わる人の笑顔も支えになったとお聞きし、心に寄り添った支援が出来ていたと感じました。ボランティアを地域組合員まで呼びかけるチラシにも大きな反応があり、これからは地域に寄り添った支援活動を続けていきたいと思います。

事業報告では、今年度も連続黒字決算という事を聞き、組合員も増えていることをとてもうれしく感じました。私たち組合員も、取り組みを行う際、常に仲間づくりを意識して活動していることも、この結果に大きくつながっていると思っています。様々なお店がリニューアルをし、また今年度は黒字になったといううれしい報告もありました。キープ&ショップも次々にオープンし、グリーンコープの広がりを地域で感じていけるようになっていきます。

本日の議題「グリーンコープは脱原発を目指しています」でもあった様に、脱原発の取り組みを進めること、自分で感じたことを自分の言葉で伝えていき、脱原発への思いをたくさんの人と共有できるように、組合員の福島視察が行われています。いまだ地域に居られない人、放射線量が高いのに戻らざるを得ない人、我が子の健康を心配しながらも福島で生活することを決めた人々の思いを、見てきた光景を、多くの人に伝え脱原発に向かっていきたいと思っています。

さらに電気の共同購入の利用者を増やし、「グリーン電力出資金」への賛同者も増やしていきたいでしょう。そして、脱原発社会に向かって、私たちが出来る事を考え、たくさん意見交換し、行動し、全ての原発をなくすことが出来るようにグリーンコープの組合員として頑張っていきたいと思います。

今年度のグリーンコープ生協ふくおかのキャッチフレーズは「楽しく、ひろがれ、30周年」です。グリーンコープをもっと多くの方に知ってもらえるように、様々なおまつりが開催されます。これからは、組合員はやりがい事をやりたいだけやる。そのために、一人ひとりが楽しみながら、グリーンコープの商品を、そして運動を地域へたくさん広げていきたいと思います。

(北九州地域理事長 坂本 寛子)

2018年
グリーンコープは30周年を迎えました!



30th Anniversary ありがとう これからも

greencoop

グリーンコープ生協ふくおかではもっとももっと
多くの方々にグリーンコープのおいしさ・こだわりを知ってもらいたいと、北九州地域と福岡地域でおまつりを行いました。

そして...

9月2日(日) 11:00~15:00

博多駅前広場 でおまつりを行います。

「グリーンコープフェスタ30th in ふくおか」

食べものからはじめよう

～つなごう未来のいのち、だきしめよう緑の地球～

たくさんのメーカー、生産者、

そして組合員がまつりを盛り上げます!

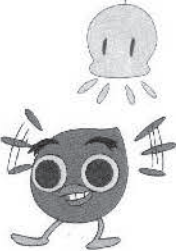
グリーンコープを味わって、楽しんで、知ってください。



▲6/9北九州地域のおまつり



▲6/24福岡地域のおまつり



議案と採決結果

総代定数386名 有効票数379票(委任状を含む出席128名 書面議決書251名)

議 案	
第一号議案：2017年度活動報告承認の件	賛成多数により 可決承認 保留1・反対0
第二号議案：2017年度決算報告承認の件	賛成多数により 可決承認 保留1・反対0
第三号議案：2018年度活動方針決定の件	賛成多数により 可決承認 保留2・反対0
第四号議案：グリーンコープは脱原発を目指しています	賛成多数により 可決承認 保留7・反対0
第五号議案：2018年度予算決定の件	賛成多数により 可決承認 保留2・反対0

議 案	
第六号議案：一般社団法人グリーンコープ共同体設立と入会の件	賛成多数により 可決承認 保留17・反対0
第七号議案：生活再生貸付事業規約改定の件	賛成多数により 可決承認 保留2・反対0
第八号議案：議案決議効力発生の件	賛成多数により 可決承認 保留2・反対0
第九号議案：2018年度役員並びに選挙人補充の件	賛成多数により 可決承認 保留3・反対0

※議長2名は採決の数に含まれていません。



▲議長を務められた
久留米支部 森 敏江さん(右)
折尾若松支部 後藤 由貴さん(左)



▲会場の様子

〈17年度決算と18年度予算〉

- (一) 総供給高253億4,262万円で予算比97.9% (▲5億3,661万円)と予算を下回りましたが、前年からは101.0% (2億5,590万円増)と供給を維持することが出来ました。事業総剰余金は73億4,525万円 (予算比98.3%)となりました。
- (二) 事業経費合計は、75億7,400万円 (予算比99.5%)でした。
- (三) 事業外収支等3億3,330万円を受け入れ、税引前剰余金は1億455万円の黒字となりました。昨年総代会で議決いただいた予算(1億7,003万円)には6,549万円届きませんでした。
- 事業別には、配送共同購入1億303万円、お店共同購入432万円、生活再生相談・困窮者支援0円、介護保険等▲281万円です。
- (四) 法人税等2,240万円の計上を行い、当期剰余金は8,215万円です。
- (五) 当期首繰越損失金▲8億8,668万円から8,215万円の処理を行い、当期末処理損失金を▲8億453万円とします。

	〈単位：千円〉			〈単位：千円〉	
	'17実績	予算比	予算差	'18予算	前年比
供給高	25,342,621	97.9%	▲536,612	25,867,864	102.1%
供給剰余	6,686,731	98.2%	▲121,215	6,820,191	102.0%
事業総剰余	7,345,247	98.3%	▲125,711	7,485,247	101.9%
人件費	2,588,873	102.1%	52,035	2,255,947	87.1%
物件費	4,985,123	98.2%	▲92,202	5,202,249	104.4%
経費合計	7,573,996	99.5%	▲40,167	7,458,196	98.5%
事業剰余	▲228,749	159.7%	▲85,544	27,051	▲11.8%
事業外収入	336,575	107.0%	22,123	119,329	35.5%
事業外費用	3,241	266.9%	2,026	1,756	54.2%
経常剰余	104,585	61.5%	▲65,448	144,624	138.3%
特別損益	▲38			▲4,292	
税引前剰余	104,547	61.5%	▲65,486	140,332	134.2%
法人税等	22,395				
法人税等調整額	0				
税引後剰余	82,152				